

**令和3年度
群馬工業高等専門学校
教室系技術職員(機械系)募集案内**

群馬県を紹介(群馬工業高等専門学校所在地)

群馬県について



郷土かるたの上毛かるたにも唄われている
ように鶴舞う形で親しまれている

注:上毛かるたは出来なくても大丈夫!!

世界遺産 富岡製糸場



※画像提供 富岡市



2014年の
ゆるキャラグランプリだよ

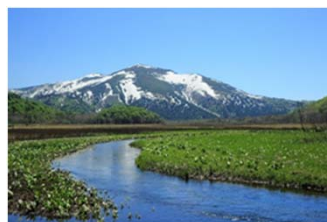


群馬県のマスコット
キャラクターぐんまちゃん

海は無いけど自然や郷土料理があるので休日は満喫できる



温泉は豊富で県内に多数の温泉地があります♨



尾瀬国立公園



豚肉料理がおいしいよ♪
豚肉生産量全国第5位
(令和2年調べ)



群馬県民のソールフード
焼きまんじゅう



群馬工業高等専門学校について

5学科で構成



機械工学科



電子メディア工学科



電子情報工学科



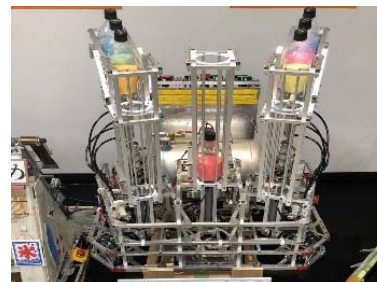
物質工学科



環境都市工学科

学生在籍数1079名(専攻科・留学生を含む)
令和3年3月調べ

課外活動



ロボット研究会



エコノパワー愛好会

他にも運動部や文化部の活動が盛んです。

教室系技術職員(機械系)の業務一覧(授業支援)

主に授業支援では、機械工学科の学生に対して、工作機械の操作指導やCADソフトウェアの操作指導、実験装置の操作指導等、実技科目の授業での学生支援を行う。

令和2年度教室系技術職員(機械系)授業支援一覧

授業名	学年	授業支援内容
工作実習	1年	旋盤、フライス盤、手仕上げ加工などの実技指導
工作実習	2年	旋盤、フライス盤、マシニングセンタ、溶接などの実技指導
工作実習	3年	溶接、複合加工機、スターリングエンジン製作などの実技指導
3D-CAD	3年	3D-CAD(Solidwork)の操作指導
工学実験	4年	実験装置の操作指導など
設計製図	4年	授業での課題製作の加工指導
知的財産権概論	5年	授業支援補助
機械工学特論Ⅱ	5年	授業支援補助

業務内容具体例(授業支援)

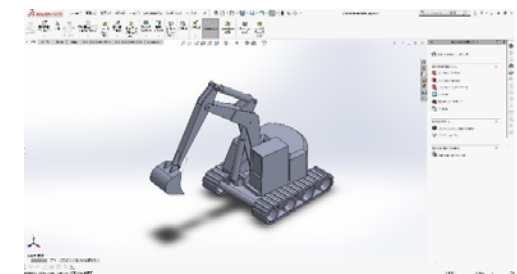
実験・実習授業支援内容

- ・ 実験・実習の事前準備や終了後のかたづけ
- ・ 実験・実習の機器の操作や加工方法の指導等
- ・ 実験・実習に必要な工具や材料の手配や機器の調整
- ・ 実習工場内の整理整頓
- ・ 実習テキストの作成・編集・印刷・製本
- ・ 実習作業上の安全教育指導



実験・実習以外の授業支援内容

- ・ CADソフトウェアの操作指導
- ・ 授業に必要なテキストの準備
- ・ 授業巡視を行い、学生の質問等に対応



授業支援の様子(フライス盤実習)



授業支援の様子(旋盤実習)



授業支援の様子(溶接実習)



業務内容(その他の支援)

授業支援以外に、加工の技術相談を受けることもあります。現在は、熟練の技術職員が対応を行っていますが、経験を積んで対応も行っていただきます。加工技術の**スキルアップ**にもなります。

相談者は機械工学科の教員や学生が多いですが、他学科や部活動からの相談もあります。

技術相談

教員や学生から自らでは加工できないものや加工方法の相談を受けます。

加工技術相談へ

技術職員が加工を行うかの判断をする

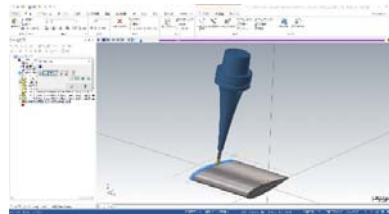
工作機械の操作方法を指導して依頼者が作業を行う。

依頼加工へ

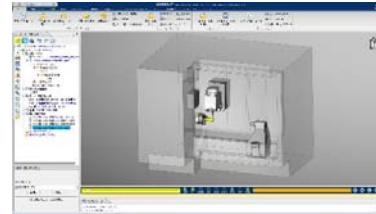
依頼加工作業事例



CADシステム



CAMシステム



シミュレーションシステム



CNC工作機械



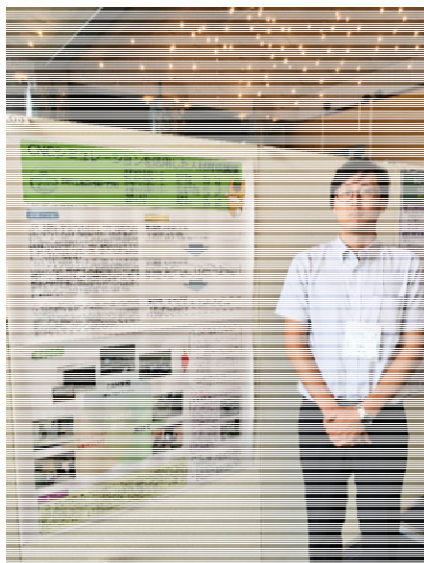
完成

依頼者では製作出来ないと判断し実習工場内の工作機械等を使用して、依頼加工を行います。
近年は、複雑形状の製作依頼が増えていますので、CAD/CAMやシミュレーションソフト、CNC工作機械の活用が多くなっています。

実験・実習支援以外の業務

学生支援の支障のない範囲内で、教育的な研究を行い発表も行っています。
また、希望により海外語学研修への参加も可能です。全国の高専職員との交流も出来ます。

KOSENフォーラムにてポスター発表



一年に一度、全国高専の教職員が研究の成果発表や意見交換等を行う場です。本校の技術職員も定期的に参加し、研究内容を発表して他高専の教職員と意見交換や他高専との交流の場としても利用しています。

三機関連携グローバルSD研修(マレーシア・ペナン)



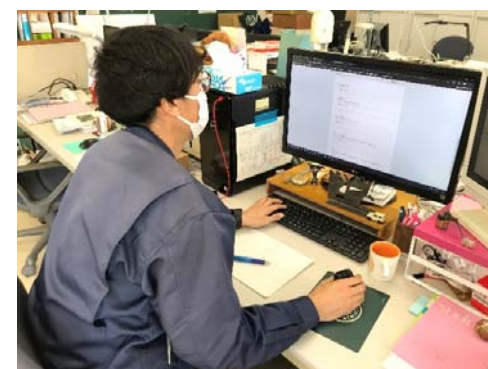
豊橋技術科学大学・長岡技術科学大学・国立高専機構の三機関が連携してマレーシア・ペナン州で実施する海外語学研修です。
本校では、過去に2名参加しています。

技術職員の一日の業務スケジュール

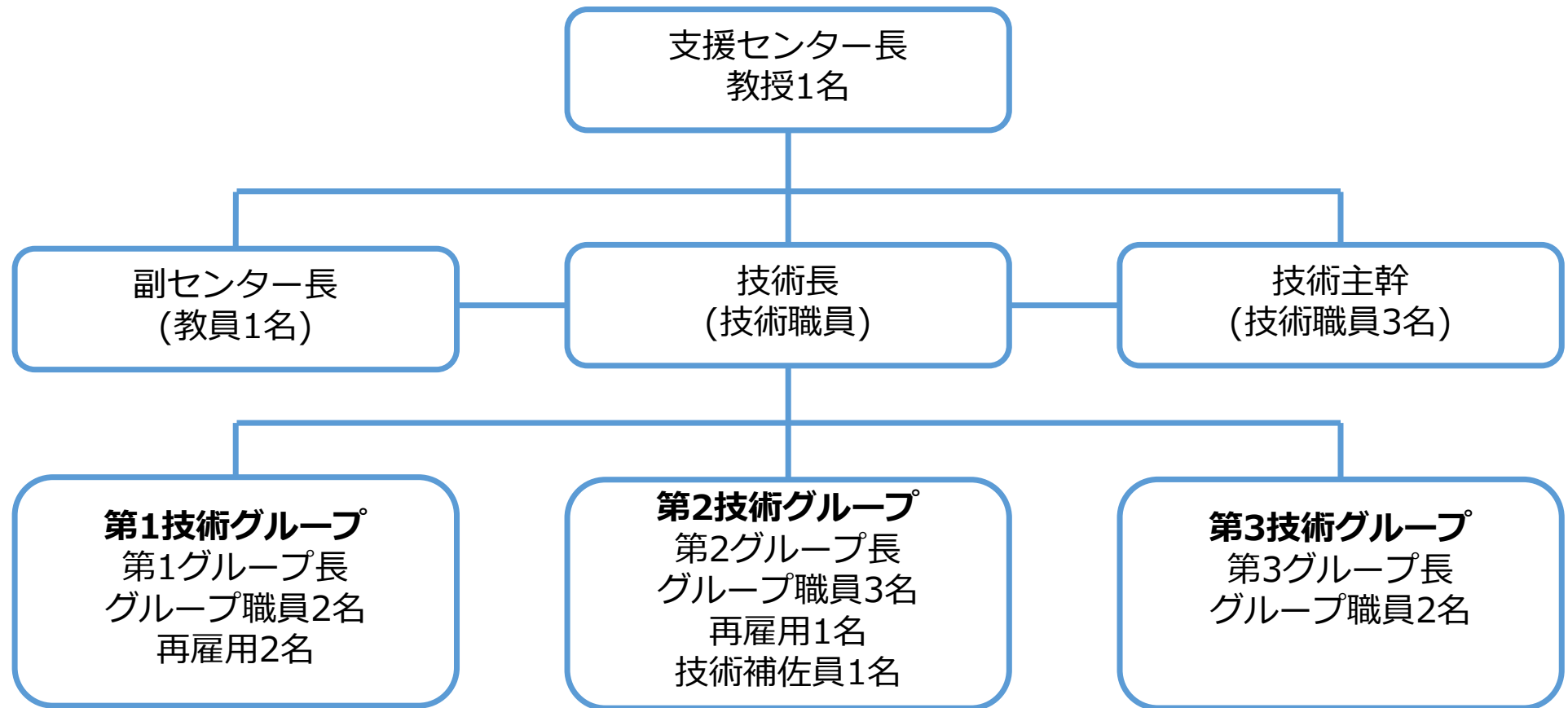
ある一日のスケジュール

～令和元年度採用の技術職員(機械系)のケース～

8:30	出 勤	メールチェック・一日のスケジュール確認
9:00	事務作業	メールの返信や実習工場内の備品管理チェック等
9:30	授業準備	午後の実習に向けて、材料の準備と工作機械の整備等
12:00	昼 食	実習工場事務所でとることが多いですが、他の職員と外食することもあります。
12:50	授業支援	機械工学科の工作実習にて学生への実技指導を行います。 この日は、1年生に安全教育を行いました。(右図参照)
16:00	後片づけ	実習終了後、工作機械のメンテナンスと工場内の清掃を行います。
16:30	学生支援	卒業研究や部活動の学生に技術相談を受けて、依頼加工や工作機械の操作指導等を行います。
17:00	退 勤	メールチェック・翌日のスケジュールを確認して退勤します。場合により、自己研鑽や学生の技術指導により残業もあります。



教育研究支援センター組織図



※支援センター職員19名(教員2名、技術職員13名、再雇用3名、技術補佐員1名)
令和3年3月現在

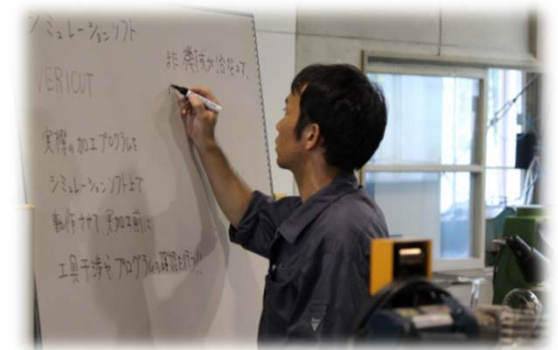
求める専門知識等

- ・ 機械・機械工作・機械加工(旋盤やフライス盤)・溶接作業を高校・大学等や職場で学び、操作経験または基礎知識を有すること。
- ・ 工作機械等の維持・管理が出来ること。
- ・ 基礎的な製図の知識とCADソフトウェアの操作が出来ること。
(使用できるCADソフトは不問とする。)

注：望ましい専門知識であり、必ずしもすべてに該当しなくても問題ありません。

求める人物像

- ・ 専門知識はもちろん、明るく協調性がある方
- ・ 学生の考えを尊重し、適切な助言が出来る方
- ・ 専門分野以外にも興味を持ち、知識や技能の習得に積極的に取り組める方
- ・ 精神的に安定し、他者とのコミュニケーションが図れる方
- ・ 自発的に行動し、目標に向けて努力できる方
- ・ ものづくりが好きな方



仕事のやりがい

- 技術職員研修に参加する機会があり、広い視野で学ぶことができます。また、研修では技術研究発表会の場もあり、自身の成果を発表し、技術職員間での交流を通じた学ぶ機会が得られるので、工学分野の最先端の知識・技術に触れ、学ぶことができます。
- 体験授業や出前授業、若手技術者人材育成講座などの技術支援を通して、小・中学生や地域の産業に貢献できます。
- 実験・実習授業支援で、学生にわかり易いように工夫した指導を行い、学生の理解力の向上や向学心を高めることで、学生の成長を感じられます。
- 実験実習の中での教育改善提案などをもとに科研費（科学研究費助成事業）を申請したり、あるいは、機器の維持管理を通じて、研究・開発活動に参加することもできます。
- 授業や依頼加工等で指導や製作を行い、学生から感謝されることもしばしばあるので、仕事に対してのやる気を持てるようになります。



教育体制

採用後は、国立高専機構の初任者研修や技術職員向けの研修は用意されています。
しかし、実験・実習を行って行く上で、不安があると思いますが、サポートは行っています。

授業支援への
不安!!

スキルアップに向けてサポート



研修参加事例

- ・ 某工作機械メーカーの対話型プログラムトレーニング
- ・ CAMソフトウェアメーカーの講習会
- ・ 職業訓練校での工作機械の技能講習
- ・ ガス溶接技能講習
- ・ アーク溶接特別教育講習

など

先輩技術職員の指導はもちろん、各種の講習会や研修に参加していただき、技能習得をしていただく機会もあります。
また、資格取得補助もあります。

問い合わせ先



※採用試験等の一般的な問い合わせ先
総務課人事係

TEL: 027-254-9010

E-mail: jinji@gunma-ct.ac.jp

※技術職員の職務についての問い合わせ先
教育研究支援センター長 出口

TEL: 027-254-9210

E-mail: deguchi@gunma-ct.ac.jp

おわりに

授業支援を行っている機械実習工場は現在改修工事を行っており、3月末日に完了予定です。
新年度より新工場での実習が再開されます。
新たな職場の設備環境で若いあなたの力を発揮してみませんか？



群馬高専 機械実習工場の完成予想図